

理数科通信

岩手県立水沢高等学校
第2号 令和5年5月29日 発行

3年理数科 課題研究最終発表会

5月24日(水)に3年理数科課題研究最終発表会を開催しました。3年理数科の生徒は、昨年の4月から課題研究に取り組み、10月に中間発表会、1月に課題研究発表会を経験し、内容を深化させてきました。今回の発表会はその集大成となる発表会で、昨年1月からどのように深化したのかを中心に発表をしました。

これから3年生は研究論文をまとめる作業を行い、7月から10月にかけていくつかの論文コンクールに応募することになります。さらに、ポスターを作成し、8月の飛龍祭(文化祭)で発表する予定です。

応募予定の論文コンクール

1. 東京理科大学主催 坊ちゃん科学賞
2. 神奈川大学主催 全国高校生理科・科学論文大賞
3. 筑波大学主催 科学の芽賞
4. 読売新聞社主催 日本学生科学賞



【発表会に参加した2年生の感想】

今回の発表会では自分が発表するときのことを考えさせられた。時間管理や見やすいスライド、グラフの作成などの課題にどのように対処するかの答えを見つけることができた。

スライドの文字の量や大きさ、色は大切だと思いました。ポインターでスライドを指しながら説明することで、どの部分についての説明なのかが分かりやすく、理解がしやすいのだとわかりました。

研究の目的を最初に明示し、それを解明するためになぜその実験方法を用いたのか、得られたデータからどのように結果を導き出したかを詳しく説明する必要があると感じた。

前回よりも研究の内容を理解することができた。また、目的や実験内容を明確に書くことと分かりやすく書くことが大切だと思った。また、内容の分かりやすさだけでなく、時間内に発表するための時間配分やスムーズに発表することも大事だと思った。

課題研究のテーマを検討している中で、先輩の発表を聞くことができ参考になる部分が沢山あった。よくばって何でもかんでも研究をしようとする、本当に求めたいものが分からなくなると感じたので、その部分に関してはより吟味していく必要があると感じた。

限られた時間内での発表の難しさや、発表しきらないといけない中での聴衆へのアイコンタクトの難しさを知ることができた。

発表内容以外にも、発表態度やスライドの作り方など、多くのことを学ぶことができたので今後に活かしていきたい。